

【参考】証券化商品への投資およびサブプライム関連投資の状況

平成20年8月14日
三井生命保険株式会社

1. 特別目的事業体(SPEs)一般

(単位:億円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	時価	含み損益	実現損益	時価	含み損益	実現損益
特別目的事業体(SPEs)一般	—	—	—	—	—	—
ABCP	—	—	—	—	—	—
うち当社が組成するSPEs	—	—	—	—	—	—
SIV	—	—	—	—	—	—
うち当社が組成するSPEs	—	—	—	—	—	—

2. 債務担保証券(CDO)

(単位:億円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	時価	含み損益	実現損益	時価	含み損益	実現損益
債務担保証券(CDO)	434	▲ 71	▲ 34	455	▲ 64	▲ 236
ABS-CDO	1	0	0	1	0	▲ 29
シニア	1	0	0	1	0	▲ 29
うちサブプライム・AltAエクスポージャー(※1)	1	0	0	1	0	▲ 29
メザニン	—	—	—	—	—	—
エクイティ	—	—	—	—	—	—
CLO	87	▲ 47	—	83	▲ 43	—
シニア	—	—	—	—	—	—
メザニン	87	▲ 47	—	83	▲ 43	—
エクイティ	—	—	—	—	—	—
CBO	—	—	—	—	—	—
シニア	—	—	—	—	—	—
メザニン	—	—	—	—	—	—
エクイティ	—	—	—	—	—	—
その他のCDO(※2)	346	▲ 24	▲ 35	370	▲ 22	▲ 207
シニア	194	▲ 21	▲ 4	196	▲ 18	▲ 74
メザニン	151	▲ 3	▲ 30	173	▲ 3	▲ 133
エクイティ	—	—	—	—	—	—

※1 サブプライム・Alt-A関連のエクスポージャーを持つ銘柄全体の金額を記載しております。なお、該当銘柄(1銘柄)の格付は、AAA格であります。当社におけるサブプライム・Alt-A関連のエクスポージャーは本欄記載以外にありません。

※2 「その他のCDO」には、企業および国のクレジットを参照するCDOを記載しております。

※3 上記CDOの格付別内訳は以下のとおりです。

(当第1四半期会計期間末…AAA格:15億円(全体に占める割合3.5%)、AA格:148億円(同34.0%)、A格:108億円(同24.9%)、BBB格:155億円(同35.8%)、格付なし:7億円(同1.7%)、前事業年度末…AAA格:15億円(同3.4%)、AA格:150億円(同33.1%)、A格:126億円(同27.8%)、BBB格:155億円(同34.2%)、BB格:6億円(同1.5%))

3. その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

(単位:億円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	時価	含み損益	実現損益	時価	含み損益	実現損益
その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー	—	—	—	—	—	—
証券化されていないローン	—	—	—	—	—	—
RMBS	—	—	—	—	—	—
デリバティブ	—	—	—	—	—	—
コミットメントライン	—	—	—	—	—	—

4. 商業用不動産担保証券 (CMBS)

(単位: 億円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	時価	含み損益	実現損益	時価	含み損益	実現損益
商業用不動産担保証券 (CMBS)	125	▲ 0	—	127	0	—
日本	125	▲ 0	—	127	0	—
米国	—	—	—	—	—	—
欧州	—	—	—	—	—	—
英国	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—

5. レバレッジド・ファイナンス

(単位: 億円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	時価	含み損益	実現損益	時価	含み損益	実現損益
レバレッジド・ファイナンス	—	—	—	—	—	—
通信	—	—	—	—	—	—
電機	—	—	—	—	—	—
娯楽	—	—	—	—	—	—

6. その他の証券化商品

(単位: 億円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	時価	含み損益	実現損益	時価	含み損益	実現損益
RMBS (※1)	3,675	▲ 44	—	3,518	29	9
円建	2,830	▲ 32	—	2,673	22	—
外貨建 (※2)	845	▲ 12	—	845	6	9
上記以外の証券化商品 (※3)	2,685	▲ 93	▲ 0	2,717	▲ 39	▲ 0

- ※1 このほかに、特別勘定においてRMBS (住宅金融支援機構債券 [旧住宅金融公庫債券]) を保有しており、その時価および実現損益は以下のとおりです。なお、特別勘定にて保有する有価証券は全て売買目的有価証券であるため、含み損益はありません。
(当第1四半期会計期間末…時価: 31億円、実現損益: 0億円、前事業年度末…時価: 37億円、実現損益: ▲0億円)
- ※2 外貨建のRMBSは、全て米国政府系機関および米国政府支援機関のMBSです。(なお、これら証券化商品とは別に、当該機関に係る社債を保有しており、当第1四半期会計期間末は時価52億円 [含み損益▲0億円]、前事業年度末は時価106億円 [含み損益4億円] となっています。)
- ※3 主な内訳は、リバース・デュアル・カレンシー債、CMS債、クレジットリンク債となっています。

7. 証券化商品合計 (上記1~6合計)

(単位: 億円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	時価	含み損益	実現損益	時価	含み損益	実現損益
証券化商品合計	6,922	▲ 211	▲ 35	6,819	▲ 74	▲ 227

- (注) 1. 時価は、債券の市場価格 (デリバティブを内包するものについてはデリバティブ部分の評価損益との合計) を記載しております。当該時価は全てブローカー等から提供されたものを採用しており、当社内部で理論価格を算出したものではありません。
2. 含み損益は、外貨建その他有価証券の為替換算差額を損益計算書に計上した後のベースで記載しております。
3. 実現損益は、売却損益、評価損および複合金融商品の区分処理に伴う損益を対象としております。(複合金融商品の区分処理とは、企業会計基準適用指針第12号に則り、複合金融商品を債券部分と組み込まれたデリバティブ部分に区分して処理することです。なお、デリバティブ部分については評価差額を当期の損益として計上しております。)

以上